



沖縄県の概況

**ABOUT
OKI
NAWA**





豊かな自然と心あたたかな人たちが暮らす島

沖縄県は、アジア大陸の東にあって、弧状に連なる日本列島の最西端に位置します。

東西約1,000km、南北約400kmの広大な海域に、大小160の島々（うち有人島47）からなる島しょ県です。

亜熱帯海洋性気候にある南西諸島は、美しいサンゴ礁、貴重な野生生物など優れた自然環境に恵まれており、中国や東南アジア諸国等との交易・交流を通じて、独自の文化を形成してきました。

そんな島に暮らすのは、祖先を敬い、伝統行事を大切にしながら

ウチナンチュであることに誇りを持つ145万人余の県民です。

国内外の人たちと交流しながら、島の発展に力を注いでいます。

【目次 Contents】

■ 沖縄の姿

- 自然 02
- 歴史 06
- 伝統・文化 10
- 世界遺産 16
- 祭祀・祭り 20
- 国際交流 24

■ 県政の概要

- 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島
- 自然を守り、生かす 28

- 伝統文化を育み、新たな創造へ 30
- 沖縄らしさが息づくまちづくり 32

■ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島

- 県民の健康増進と福祉 34
- 県民が安心して暮らすために 36
- 生活基盤の充実強化と住みよいまちに 38

■ 希望と活力にあふれる豊かな島

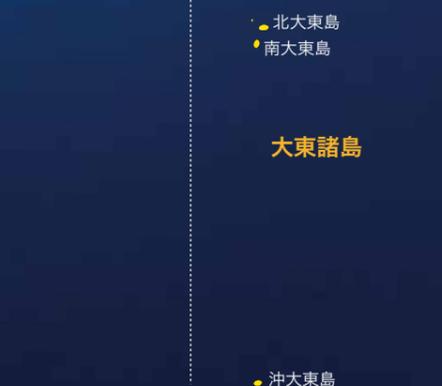
- 世界から選ばれる観光地の形成 40
- 経済交流・発展の拠点に 42
- 科学技術イノベーションの創出 44



琉球諸島



先島諸島



大東諸島

【沖縄県のデータ】 総面積 2,281.00 km² (対全国比: 約0.6%)
令和元年10月1日現在

総人口 1,458,840人(対全国比: 約1.2%)
令和2年10月1日現在

沖縄の特性を生かした農林水産業の振興 46
地域資源と人材の活用 48
離島地域の魅力向上を目指す 50

世界に開かれた交流と共生の島
国際交流と平和の発信 52

多様な能力を発揮し、未来を拓く島
教育への取り組み 54
沖縄の未来を担う人材育成 56

■ 沖縄県の資料 58

NATURE

自然



慶良間諸島



マリユドゥの滝 / 西表島

美しい自然と 個性豊かな生き物

沖縄県は全域が亜熱帯地域に属し、一年を通して温暖な気候に恵まれています。島を取り囲む青い海は、熱帯魚やサンゴ礁などが息づく生き物たちの宝庫です。そして沖縄本島北部や離島には、ジャングルのように生い茂る森があり、そこには国内外でもめずらしい動植物や昆虫が生息しています。生命力にあふれる自然は、沖縄県が世界に誇れるものの一つです。



沖縄の海に広がるサンゴ



ヤンバルクイナ



ヤンバルテナガコガネ



サキシマスオウノキ/西表島

この島に息づく豊かな自然が
多くの人を惹き付ける



カンヒザクラ



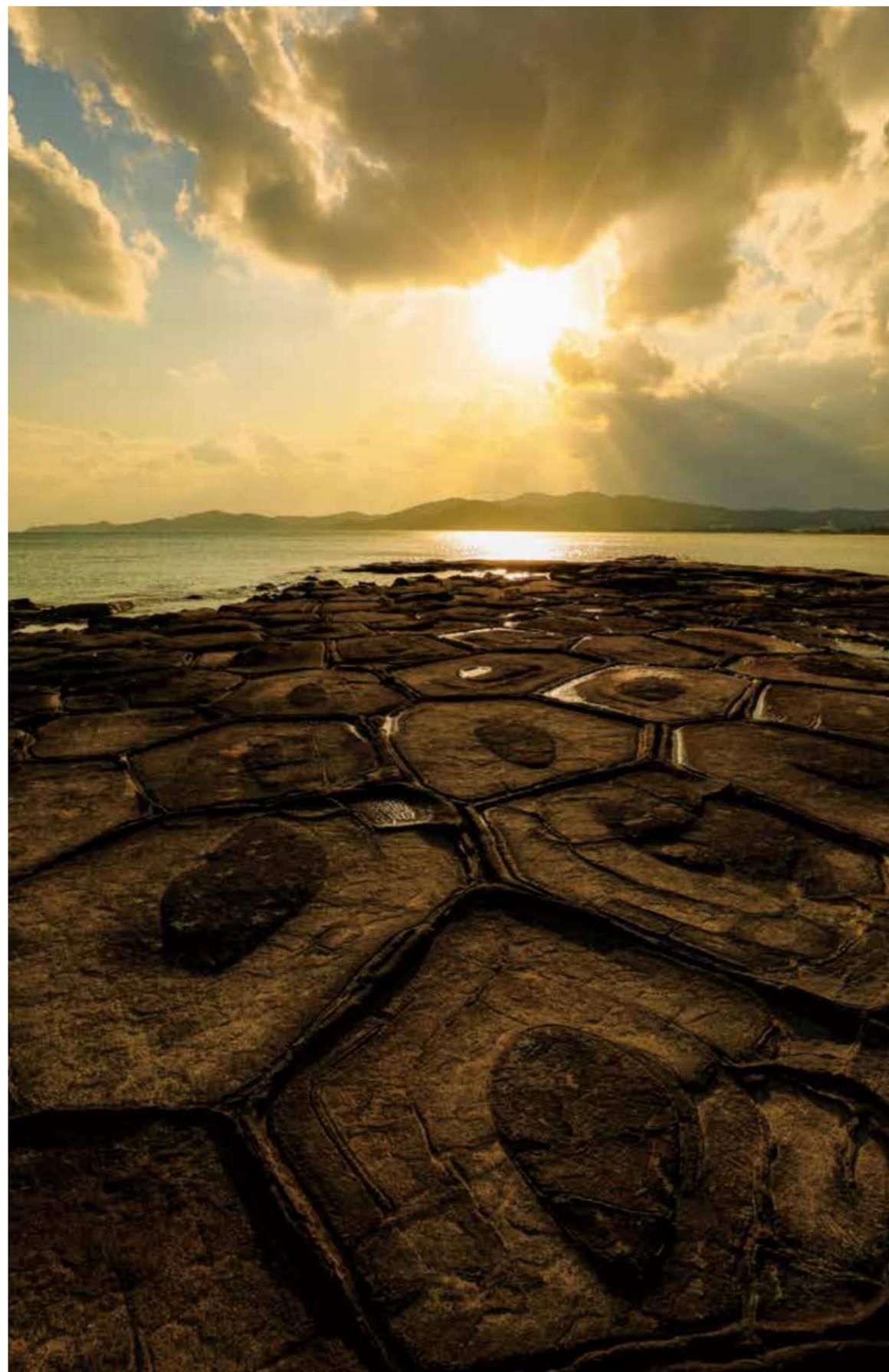
ブーゲンビレア



フクギ並木/本部町



マングローブ/小浜島



壘石(亀甲岩)/久米島

HISTORY

歴史

琉球王国から 沖縄県へ

琉球王国という独立国だった沖縄県は、中国をはじめとした近隣諸国との交易によって繁栄しました。1609年の薩摩侵攻によって日本の幕藩体制に組み込まれ、1879年の廃藩置県で日本の一県となり

ました。1945年の太平洋戦争では、国内唯一の地上戦の場となり、多くの尊い命が失われました。終戦後は米軍の統治下に置かれ、1972年に日本復帰。その後は、目覚ましい発展を続け、現在に至ります。



紺地龍丸文様緞子唐衣裳
(那覇市歴史博物館提供)



金装宝剣拵
(号 千代金丸)
(那覇市歴史博物館提供)



おもろさうし
(沖縄県立博物館・美術館所蔵)



玉冠(付簪)
(那覇市歴史博物館提供)



首里那覇島敵図(那覇市歴史博物館提供)

紙本着色冊封使行列図(沖縄県立博物館・美術館所蔵)



旧首里城正殿鐘/
万国津梁の鐘
(沖縄県立博物館・
美術館所蔵)



首里城を訪問するペリー提督一行(那覇市歴史博物館提供)



ペリー来航当時の那覇の街(那覇市歴史博物館提供)



金杯
(沖縄県立博物館・
美術館所蔵)



尚育王御後絵(彩色模写復元)
(東京藝術大学保存修復日本画研究室制作・
一般財団法人 沖縄美ら島財団所蔵)



廃藩置県の布告文
(那覇市歴史博物館提供)



馬上の楽童子図
(那覇市歴史博物館提供)

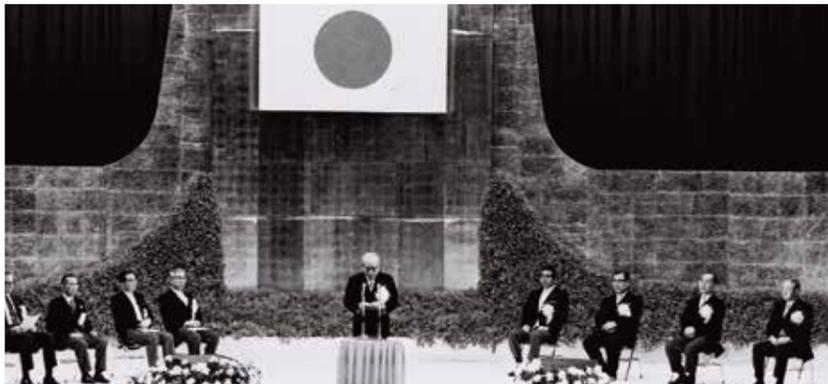


HISTORY

605年	1187年	1429年	1458年	1531年	1609年	1623年	1835年	1853年	1872年	1879年	1945年	1951年	1952年	1969年	1972年
「流求」がはじめて中国史にあらわれる	舜天即位	尚巴志が三山を統一し、琉球王国を成立	護佐丸・阿麻和利の乱	「おもろさうし」第一巻編集	薩摩侵攻、島津の支配下に置かれる	儀間真常、黒糖を製造	琉球国王第18代・尚育王即位	ペリーが那覇に来航	琉球藩となる	沖縄県となる(廃藩置県)	米軍が沖縄に上陸。日本軍が降伏文書に調印	サンフランシスコ条約で沖縄、奄美が米国の施政権下におかれる	琉球政府発足	沖縄返還日米共同声明	日本復帰、ドルから円へ切り替え



沖縄戦の様子(那覇市歴史博物館提供)



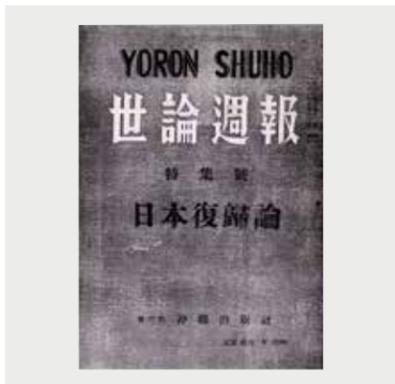
沖縄復帰記念式典(沖縄県公文書館提供)



各国の首脳が出席した九州・沖縄サミット(琉球新報社提供)



沖縄美ら海水族館



本土復帰への記事が掲載された「世論週報」(那覇市歴史博物館提供)



ドル交換の指定銀行前(那覇市歴史博物館提供)



ドルから円に通貨交換する人々(沖縄県公文書館提供)



沖縄都市モノレール「ゆいレール」



沖縄県立博物館・美術館



慶良間諸島



沖縄国際海洋博覧会(那覇市歴史博物館提供)



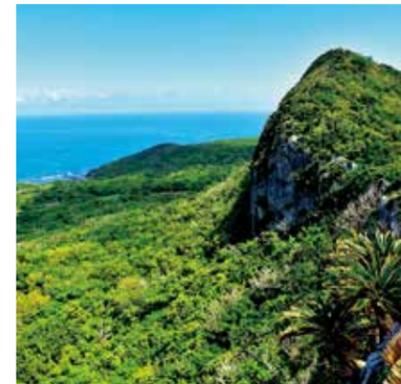
交通方法の変更(那覇市歴史博物館提供)



第42回国民体育大会「海邦国体」開催(琉球新報社提供)



空手会館「特別道場」



国立公園に指定されたやんばる地域

時代とともに発展し続ける沖縄県

1975年	1978年	1987年	1990年	1995年	2000年	2002年	2003年	2007年	2012年	2014年	2015年	2016年	2017年	2019年
沖縄国際海洋博覧会開催	交通方法の変更	第42回国民体育大会「海邦国体」開催	第1回世界のウチナーンチュ大会開催	「平和の礎」建設	第26回主要国首脳会議(通称「九州・沖縄サミット」)開催	沖縄美ら海水族館開館	沖縄都市モノレール(ゆいレール)開業	沖縄県立博物館・美術館開館	沖縄科学技術大学院大学開学	慶良間諸島、国立公園に指定	伊良部大橋開通	やんばる地域、国立公園に指定	沖縄空手会館開館	入城観光客数1千万人突破



伊良部大橋(© OCVB)